ESET Inspect on-prem リリースノート

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

（2025 年 4 月）

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Inspect on-prem（以後、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。

本製品は、以下の 2 つのプログラムによって構成されています。

- ESET Inspect Server（以後、EI Server と記載します）
- ESET Inspect Connector（以後、EI Connector と記載します）

本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- 本製品がサポートしている ESET Endpoint 製品バージョンが導入されていることを確認してください。
- 本製品がサポートしている ESET Endpoint 製品が ESET クライアント管理用プログラムによって管理されていることを確認してください。
- 本製品はインターネット接続を必須としています。クローズド環境ですと正しく機能しないためご注意ください。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプをご確認ください。

オンラインヘルプ
https://help.eset.com/ei_navigate/2.5/en-US/

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ [Computer Details]>[Terminal]を利用できる PowerShell のバージョンについて

Terminal を利用する際は、接続先のエンドポイントに PowerShell V5.1 以降が導入されている必要があります。それ以前のバージョンでは、本機能が正しく動作しないことを確認しております。

□ Web コンソール上で証明書を差し替える際の注意点

EEI Web コンソール上から証明書を差し替えた直後に ESET EI Server サービスの再起動を行うと操作が正しく反映されず、予期せぬエラーを引き起こす可能性があります。Web コンソール上から証明書を差し替えた際は、5 分程度の時間を空けてサービスの停止を実施してください。

□ Executables と Scripts の Safe フラグの扱いの違いについて

EI では Executable と Script に対し、Safe フラグを設定することができますが、仕様上それぞれ扱いが異なります。以下の挙動が正常な動作となります。

Executables:

EI によって取得された実行ファイルに対して設定されます。Safe フラグを設定された実行ファイルは、ほとんどの検知ルールによってトリガーされなくなります。

※Safe フラグは Enterprise::Safe isnot 1 が設定されている検知ルールによって評価されます。

Scripts:

EI によって取得されたスクリプトに対して設定されます。Safe フラグは確認済みステータスを示すフラグとして利用することができ、検知ルールのトリガーに影響を与えることはありません。

※Safe フラグは Enterprise::Safe isnot 1 が設定されている検知ルールによって評価されません。

□ macOS に ESET Inspect Connector をインストールする際の注意点

MacOS 10.14 以降に ESET Inspect Connector（以降、EI Connector）をインストールする場合、EI Connector にフルディスクアクセスを許可する必要があります。[設定] > [セキュリティとプライバシー] > [プライバシー]よりフルディスクアク

セスを許可してください。
オンラインヘルプに記載されている MDM を利用したフルディスクアクセスのリモート許可は日本ではサポートされていません。

□ macOS/Linux を EI で管理する際の注意点

MacOS と Linux を EI で管理する際の設定は EP よりポリシーを適用する必要があります。EI Server への接続情報をポリシーで定義し管理するマシンに適用してください。

□ Terminal 接続時の注意事項

EI Web コンソールの Terminal 接続機能を利用するためにはコンソールにログインするユーザの二要素認証を有効にする必要があります。
詳しくは ESET オンラインヘルプをご参照ください。

■ 既知の問題について
本製品には、以下の問題と制約があります。
これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。
最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：
https://eset-info.canon-its.jp/support/

プログラムの変更点について
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

□ ESET クライアント管理用プログラムの監査ログに余分なログが表示される事象について

ESET クライアント管理用プログラムの監査ログに大量の Administrator ログアウトが表示される事象を確認しています。

□ EP のクライアントタスクで EI Connector をインストールするとタスクの実行結果が失敗と表示される現象について

EP のクライアントタスクより ESSW11.0.12.00.1 が導入されている Windows Server 環境に EI Connector をインストールするとタスクの実行結果が失敗となる事象を確認しています。
表示上の問題で実際には導入されていることを確認しています。実機にて EI Connector がインストールされていることをご確認ください。

□ Script のハッシュを利用した除外が機能しない現象について

EI Server 1.11 より Script のハッシュを除外ルールに記載できるようになりましたが、Script のハッシュを記載した除外ルールを作成しても除外が機能しないことを確認しています。

□ 一部の Linux 環境に EI Connector のポリシーが適用されない現象について

一部の Linux 環境に対して EP から EI Connector のポリシーを割り当てても適用されない現象を確認しております。
複数回 OS 再起動を行うことで本現象が解消されることを確認しております。
また、EM Agent 11.0 以降で本不具合は解消されています。

□ イベントの「操作のタイプ」のフィルタに未翻訳のものがある

[コンピューター]>[詳細]>[イベント]の「操作のタイプ」のフィルタに未翻訳のものが 3 つあることを確認しております。
それぞれが何に対応しているかは、以下を参考にしてください。

① COLUMN_FILTER_4_52 → DllLoaded(on process start)
② COLUMN_FILTER_4_85 → VirtualDiskMounted
③ COLUMN_FILTER_4_86 → BITSJobAddFile

□ EPO に設定した EI インシデントに関する通知が行われない

EPO に設定した EI インシデントに関する通知が行われない現象を確認しております。

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：
https://canon.jp/biz/solution/security/it-sec/lineup/eset/product/eset-inspect